

中北同胞生活情報誌

第 54 号

2011 年 4 月 25 日発行
(毎月 25 日発行)

中北
우리 동네

発行：中北同胞生活相談綜合センター

購読料：0 円

〒242-0021 大和市中心 2-14-22

TEL 046-261-8403 FAX 046-261-8405

E メール nakakita0715@yahoo.co.jp

입학생들을 열렬히 축하합니다!

~우리 하키편 입학식~

4 月です。 우리 하키편では恒例の入学式が行われました。

2 日には西東京第 2 学校、3 日は横浜初級学校、5 日は創立 60 周年を迎える神奈川中高が入学式を行いました。 ピカピカの新入生たち、チュッカハンミダ!



神奈川中高 入学式 (5 日)



横浜初級学校 入学式 (3 日)



西東京第 2 学校 入学式 (2 日)



学校では当分の間、古紙を回収（受付）しません!

長い間、御協力有難うございました!

西東京朝鮮第 2 幼初級学校 オモニ会

「大地は揺れても、笑顔で行こう！」

金正日総書記から送られた慰問金を胸に、被災地では入学式を行うなど力強い第一歩が踏み出されています。 また、3月30日から31日にかけて中北地域同胞の支援物資をイルクン達が直接被災地に入り同胞たちに手渡しました。



(写真左) 徐順子女盟委員長が福島学校の入学式に参加し、図書カードを手渡しました。



(写真右) 津波によって滅茶苦茶になってしまった石巻の同胞飲食店で片づけを手伝いました。



今回、中北と川崎の総聯委員長、横浜女盟委員長と朝青イルクン3名の計6名が3トントラックとワゴン車に乗って、中北・町田、横浜、川崎同胞、そして県下朝青員たちの愛のこもった支援物資を届けてきました。 東北学校では私達を温かく迎えてくれました。 そして何よりも教員、朝青イルクン達は皆、元気でした。 石巻の同胞店舗の片づけを最後まで手伝えなかったのが心残りです。 石巻の同胞は「今日は本当にありがとう・・・近いうち必ず営業再開するから神奈川から食べにきて！」と言ってくれました。 胸が熱くなりました！

東日本大震災 中北地域同胞募金状況

中央	大和	大野	淵野辺	相模原	その他
136,000	131,000	88,000	194,000	72,000	65,000

4/25 現在で 686,000 円の募金が集まりました。



日本政府は5日、今月13日に期限切れとなる朝鮮に対する経済制裁を、1年間延長することを閣議決定した。一方、朝鮮赤十字会は東日本大震災によって多くの人的、物的被害を被った被害者や遺族に深い同情を寄せながら、日本赤十字社に10万ドルの慰問金を送った。慰問金を手渡した総連中央の許宗萬責任副議長は、日本政府の不当な制裁措置などにより朝・日関係は最悪の状況にあるものの、金正日総書記が人道主義の見地から見舞金を送ってくれたことを強調した。被災地では、国籍や民族を超えた助け合いの動きが広がっている。各地の総連緊急対策委では炊き出しや避難所の提供など、同胞はもちろん多くの困っている日本人々にも、支援の手を差し伸べている。こうした中、朝鮮をいつまでも敵視し、関係改善を拒もうとする日本政府の冷戦志向に基づいた制裁延長措置は、愚の骨頂というほかあるまい。(朝鮮新報 4/6)

オバマ大統領の空虚な強硬パフォーマンス

4月18日ホワイトハウスは、オバマ大統領が朝鮮民主主義人民共和国からの新規の輸入を全面禁止する大統領行政命令に署名したと発表した。その骨子は「朝鮮からの商品、サービス、技術などの米国へのあらゆる輸入を原則的に全面禁止する」というものである。過去数十年間、朝鮮から米国への輸入は皆無であったので、これはまったく実効性の無い空虚な措置だといえる。これはかえって、軍事力の行使以外に米国が取れる実効性のある強硬措置がないことを反証している。一方で米国政府は、3月に朝鮮の貿易省と金属工業省、農業省、財政省の局長級代表団(12名)の入国と2週間の滞在を認めただけで、5月末から6月初めまで訪米する朝鮮のテコンドー代表団や2月について5月に訪米する朝鮮の金策工業総合大学の教員を中心とする科学者代表団の入国ビザも発給するという。ホワイトハウスの発表の翌日には、ロバート・キング対朝鮮人権問題担当特使が米務省でわざわざ南朝鮮と日本の記者たちと会見し、朝鮮への食糧支援について「真剣に検討している。どのような形でも、今回の行政命令が食糧支援問題決定に影響を及ぼすことはない」と強調したという。周知のように、カーター元大統領が元国家元首たちのクラブ「エルダーズ・グループ」のメンバーであるロビンソン元アイルランド大統領、ブルントラント元ノルウェー首相、アティサリ元アイルランド大統領とともに今月26日から2泊3日の予定で訪朝することになっているが、米国政府は「あくまで民間レベルの私的訪問」と強調している。しかし、米国の元大統領が政府の許可なしに敵対国を訪問できるはずがない。南の京郷新聞(4月21日付)によると、カーター訪朝団の実務陣がすでに先月22日~25日にピョンヤン入りし朝鮮側と金正日総書記との会談実現を前提に議題と日程などについて事前協議を行ったという。もし、カーター元大統領一行と金総書記との会談が実現した場合、彼が朝鮮の最高指導者のメッセージを持ち帰る可能性もあり、オバマ大統領としても無視することが出来なくなるであろう。朝鮮と中国、米国との間では南北→朝米→6者代表者会談という「3段階構想」が話し合われ、その実現に向けた駆け引きがすでに始まっているようだ。朝鮮半島をめぐる情勢も5月からいよいよ、対話モードに入る気配がうかがえる。その意味で、今回のオバマ大統領の行政命令は、いままで強硬策に固執して何の成果も上がらず対話モードに入らざるを得なくなった自分のメンツを保ち、強硬姿勢に盲従してきた日本や南朝鮮への体裁を取り繕うための「空虚な強硬パフォーマンス」であったのかもしれない。(了)

神奈川中高は今年、創立 60 周年を迎えます！



60 周年ロゴマーク完成！

- ・ 8/30 (火) 金剛山歌劇団公演 (神奈川芸術劇場)
- ・ 9/25 (日) 民族教育フォーラム (神奈川芸術劇場)
- ・ 10/9 (日) 記念行事 (神奈川中高運道場)
- ・ 「神奈川中高連合同窓会」を再構築します。
- ・ 校舎補修事業を行います。(校舎外壁、トイレ大幅補修、特別校舎雨漏り、教室ドア、ガラス等)

※60 周年記念イベント第 1 回目だったゴルフコンペ(4/15)は、実行委員会で慎重に議論した結果、中止という運びとなりました。 これからも中高60周年記念イベントをよろしくお願ひします。メインイベントである 10/9 記念行事には家族、親戚を皆引き連れて神奈川中高へお越しください！

한마디

(ハンマディ=一言) 「頑張ろう日本!」、「日本は強い国!」、「つながろう日本!」やたら「日本」という言葉が聞こえてくる。日本に住んでいるから当たり前なのか?

いや、いろんな所に目を向けて、耳を傾けて報道や事実が伝わればいいのだが、そうでないから疑問がわいてくる。総聯宮城県本部と東北朝中、朝青トム達が生隣日本住民の為に3回もの炊き出しを行った事、福島イルクン達が日本の方々と共同生活をする中で、身の周りの色々な世話をして感謝を受けている事実は広範な人々に伝わらない。少なくとも私の知る限りでは「京都新聞」でしか報道されなかった。「国際社会」や「共生共存」の言葉に合った毎日をおくってほしい。

私も地域密着の友好親善をもっと心がけて毎日を送ろうと思っています! (慶)

2011 年 5 月 中北地域、神奈川県 の予定

- 5 月 16 日(月) 西東京第 2 学校建設委員会全体会議 (19 時 町田支部事務所)
- 5 月 16 日(月) 女盟神奈川 湘南平登山 (大磯駅 10 時集合、解散は 15 時ごろ)
- 5 月 21 日(土) 神奈川中高創立 60 周年記念 運動会 (雨天時は 22 日)
- 5 月 29 日(日) 横浜初級学校 運動会
- 6 月 5 日(日) 中央熱誠者大会
- 6 月 11~18 日 神奈川同胞祖国訪問団 祖国訪問 (詳細は支部または本部まで)
- 6 月 11 日(土) ビューティーエクササイズ (女盟サオフェ主催、11 時 横浜プラザホテル 5 階)